

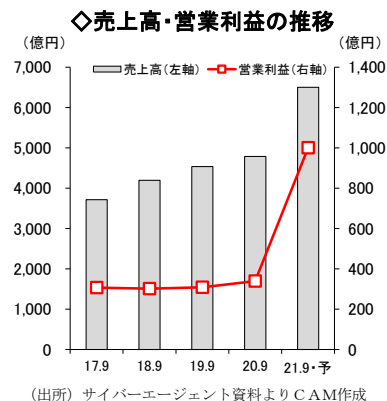
企業ニュース サイバーエージェント

(東証1部：4751) <https://www.cyberagent.co.jp/>

作成者:村上大志

国内トップシェアのインターネット広告代理店

1998年の創業以来インターネット広告事業を展開しており、国内トップシェアを誇る。同事業を柱にゲーム事業とメディア事業も展開する。2021年2月に提供開始した自社IPのスマートフォン向けゲーム「ウマ娘 プリティーダービー」は、約5カ月で900万ダウンロードを突破した。メディアでは、国内最大規模のブログサービス「Ameba」やマッチングアプリ「タップル」、テレビ&ビデオエンターテインメントサービス「ABEMA」などを提供。「ABEMA」はコンテンツ強化などの先行投資で営業損失が続くが、ダウンロード数はサービス開始5年3カ月で6,800万を突破し順調に拡大している。20.9期のセグメント別売上高構成比はインターネット広告53%、ゲーム32%、メディア10%、投資育成1%、その他4%。



ゲーム事業が業績に大きく貢献

21.9期・第3四半期累計(10-6月)の連結業績は売上高が4,867億円、前年同期比36%増、営業利益が775億円、同172%増。ゲーム、インターネット広告ともに好調で想定を上回って着地した。特にゲームは売上高が1,863億円、同60%増、営業利益が686億円、同196%増と大幅な増収増益を達成。新規タイトルの「ウマ娘 プリティーダービー」が大ヒットし、業績に貢献した。インターネット広告の売上高は2,391億円、同17%増、営業利益は181億円、同6%増と、コロナ禍からの広告需要の回復に加え、AIを活用したプロダクトの導入が進み、堅調に推移した。

主にゲーム事業の業績が想定を上回ったことから、21.9期の売上高6,000億円を前期比36%増の6,500億円に、レンジ開示としていた営業利益575~625億円を同195%増の1,000億円に上方修正した。「ウマ娘 プリティーダービー」は新機能の追加などでロングランヒットが期待される。ゲームの新規タイトルではポスト「鬼滅の刃」とも言われる人気漫画「呪術廻戦」の初となるスマホゲームを開発中。メディアは「ABEMA」の先行投資が続くがダウンロード数は順調に増加しており、インターネット投票サービス「WINTICKET」の取扱高も拡大傾向にある。

[株価動向・投資判断]

ゲーム事業のピークアウトが懸念され決算発表後に株価は下落したが、コンセンサスを上回る業績は素直に評価したい。PERは大きく低下しており、押し目買いの好機と捉える。

<4751 サイバー 業績:日本基準>

[今期予想の配当金は発行会社予想]

	売上高	営業利益	経常利益	当期利益	1株利益	1株配当
	百万円 (伸び率)	百万円 (伸び率)	百万円 (伸び率)	百万円 (伸び率)	円	円
19.9	453,611 (8)	30,825 (2)	30,493 (7)	1,694 (▲65)	13.5	33.00
20.9	478,566 (6)	33,880 (10)	33,863 (11)	6,608 (290)	52.4	8.50
21.9 予	650,000 (36)	100,000 (195)	100,000 (195)	40,000 (505)	79.2	11.00

(注)21年4月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を実施。20.9期及び21.9期の1株配当は当該株式分割考慮後の数値



[主要株価指標] (売買単位:100株)	
株価(2021/8/6)	2,058 円
年初来高値(高値日)	2,441 円(21/6/24)
同 安値(安値日)	1,507.5 円(21/3/11)
予想PER(21.9予)	26.0 倍
1株株主資本(PBR算出用)	238.1 円
PBR	8.64 倍
予想配当利回り	0.53 %
(1株当たり配当金年11.00円)	
ROE(20.9)	7.8 %
発行済み株式数	50,571 万株